

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

心房細動患者における大動脈内視鏡を用いた大動脈内膜の探索的研究

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 小嶋 啓介

### <研究期間>

承認日 ~ 令和 6 (西暦 2024) 年 3 月 31 日

### <研究の目的と意義>

心房細動は脳梗塞の原因として知られ、予防のためにワルファリンや直接経口抗凝固薬の内服による抗凝固療法を行っています。最近、心房細動患者において、抗凝固療法だけでは無症候性脳梗塞の発症を防ぐのに十分でない可能性が報告されました。そのメカニズムはわかっていません。過去の臨床研究では、大動脈硬化とその後の脳卒中イベントの発生率の関連が報告されています。血流維持型血管内視鏡は大動脈の動脈硬化性プラークを評価することができ、大動脈内膜の血栓、黄色プラーク、プラークの破裂などの所見を同定することができる検査です。当院ですで行われた血管内視鏡検査から得られたデータとその患者データを利用し、心房細動患者と非心房細動患者の大動脈内膜所見を比較し、心房細動と血管内視鏡で同定される大動脈血栓との関連性を評価することを計画しました。この研究により無症候性脳梗塞の発症のメカニズムの発見につながる可能性があります。

### <利用する試料・情報の項目>

病歴などの診療記録、血液検査所見、大動脈内視鏡所見、心臓超音波検査所見などの情報を電子カルテから収集します。

### <対象となる方>

2017年1月から2022年8月までに日本大学医学部附属板橋病院循環器内科にて冠動脈造影を施行した心血管疾患患者のうち、大動脈内視鏡検査を施行している方が対象となります。

「大動脈破綻の先制診断を目的とする血管内視鏡を用いたレジストリー研究(RK-141114-8)」や「大動脈内視鏡により観察された大動脈壁動脈硬化と臓器障害の関連を検討するレジストリー研究(RK-171212-2)」に参加された方を含みます。

### <研究の方法>

電子カルテより得られた情報から心房細動患者と非心房細動患者の大動脈内視鏡検査で同定された大動脈内膜所見を比較します。

### <お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科

氏名：小嶋 啓介

電話：03-3972-8111

内線：(医局) 2412

(PHS) 8697